



幕末維新のくに 長州・萩へ



松下村塾を支えた

松陰の妹・文ふみ(美和子)

1843年(天保14年)、萩藩士・杉百合之助ゆりのすけの四女として、萩の地に生まれました。

兄・吉田松陰を助けながら松下村塾を

切り盛りした文は、塾生たちに可愛がられ、

松下村塾の双壁、久坂玄瑞くさかげんすいに嫁ぎます。

しかし、禁門の変で玄瑞は自決。夫を失った文は、

元昭の守役として毛利家に仕えます。

その後、亡き姉・寿ひさの夫であった

群馬県令・楢取素彦かとりもとひこと再婚。

1921年(大正10年)、

79歳でこの世を去りました。

2015年(平成27年)NHK大河ドラマ「花燃ゆ」も最終ステージに突入しました。
幕末志士を育んだ萩には、「花燃ゆ」ゆかりの地がたくさんあります。

また、本年、萩の5資産を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されました。
この機会に、城下町の風情あふれる萩を散策してみませんか。

寄稿：萩市観光協会

松陰の盟友

かとり もとひこ
楫取素彦

藩医・松島瑞幡の次男として萩に生まれ、

儒者小田村家の養子となって伊之助いのすけと称し、

藩校明倫館で教べんをとりました。

25歳の時に松陰の妹・寿と結婚。熱血漢で行動派の

盟友 松陰を陰から支援しました。

素彦は藩主・毛利敬親公の近臣として仕え、

諸藩との交渉役を担い、1867年(慶応3年)、

藩命により楫取素彦と改名しました。

1876年(明治9年)、初代群馬県令となりました。

妻・寿の没後、松陰のもう一人の妹・文(美和子)と

再婚し、杉家とは強い絆で結ばれ

晩年を防府市で過しました。



松下村塾の塾生たち



く さか げん ずい
久坂 玄瑞

松下村塾の双壁といわれ、長州藩尊王攘夷派を指導した。松陰の妹、文と結婚し松陰を助けた。禁門の変で自刃。



よし だ とし まろ
吉田 稔麿

松下村塾の四天王。情報収集し松陰に伝える。池田屋事件で命を散らす。(写真は誕生地)



い どう ひろ ぶみ
伊藤 博文

初代内閣総理大臣。長州ファイブの1人として英国へ密航留学した。



やま だ あき よし
山田 顕義

初代司法大臣。近代法典の編纂に携わる。戊辰戦争では天才的用兵術を発揮。



しな がわ や じ ろう
品川 弥二郎

内務大臣を務めたのち、信用組合の普及に尽力。禁門の変の八幡隊隊長。



てら しま ちゅう ざぶ ろう
寺島 忠三郎

久坂玄瑞とともに禁門の変で自刃した。



たか すぎ しん さく
高杉 晋作

久坂玄瑞とともに松下村塾の双壁といわれる。奇兵隊を創設。下関で決起し、藩是を武備恭順とした。



いり え く いち
入江 九一

光明寺党結成を指導。高杉晋作を助け奇兵隊の創設に尽力した。禁門の変で戦死。(写真は誕生地)



やま がた あり とも
山県 有朋

第三代内閣総理大臣。元帥として軍部を統帥。奇兵隊軍監を務めた。



の むら やすし
野村 靖

第二次伊藤内閣の内務大臣。晩年は松陰思想普及に努めた。



まえ ばら いっ せい
前原 一誠

戊辰戦争で長岡城を攻略。萩の乱で不平士族を率いて挙兵。



まつ うら しゅう どう
松浦 松洞

江戸に送られる直前の松陰の肖像画を描いた。(写真は誕生地)

松下村塾

幕末期に吉田松陰が主宰した私塾「松下村塾」。もともと松陰の叔父である玉本文之進が、1842年(天保13年)、自邸で開設したのが始まりで、ついで松陰の外叔父にあたる久保五郎左衛門が継承しました。

1857年(安政4年)、松陰がこれを継ぎ、実家である杉家隣の小屋を改装し、8畳1間の塾が開かれました。

塾では、身分や階級の区別なく学ぶことができ、儒学、兵学、史学などを始めとした広範な学問が教授され、ただ講義を聴くだけでなく、活発な議論もくり広げられていました。

松陰が主宰したのはわずか1年あまりの間でしたが、幕末維新期に活躍し、近代日本の原動力となった数多くの逸材を輩出しました。

■住所／萩市椿東1537

■問合せ先／松陰神社 TEL 0838-22-4643

よし だ しょう いん
吉田 松陰

萩藩士・杉百合之助の次男として生まれ、6歳で山鹿流兵学師範の吉田家を継ぎます。幼少時から叔父 玉本文之進の厳しい指導を受け、19歳で藩校明倫館の兵学師範として独立します。九州、関東、東北、関西へと全国を遊歴し多くの人々に接して勉強を重ねます。

25歳の時、国法を犯し伊豆下田で米国への密航を図るも失敗し、萩の野山獄に投じられます。その後、実家杉家で幽囚の身となり、松下村塾を事実上主宰。書物の解釈に留まることなく、世の中で起きている時事問題を題材にした討論を行い、後に第一線で活躍する多くの人材を育てます。

井伊直弼による安政の大獄で処刑されました。

至誠にして動かざる者は、
未だ之れ有らざるなり



地 萩の名所案内



吉田松陰誕生地

萩城下を一望できる「団子岩」と呼ばれる高台にあり、風光明媚なこの場所で吉田松陰と文は生まれました。松陰は、吉田家を継いだ後も両親とともにこの場所で暮らしています。のちに、一家は現在の松陰神社境内に生活に移しました。現在は、産湯の井戸と建物の間取りを示す敷石が残っています。隣接する墓所には、松陰をはじめ吉田家や杉家、門下生の墓があります。

■住所／萩市椿東1433-1
■問合せ先／萩市観光協会 TEL 0838-25-1750



高杉晋作誕生地

幕末の風雲児 高杉晋作の誕生地。敷地内には、晋作ゆかりの品や東行と号した歌碑、産湯の井戸などがあります。晋作は、藩校明倫館に通う一方、父の目を盗んで松下村塾に通い吉田松陰の薫陶を受けました。すぐそばの晋作広場には20歳頃の凛々しい顔をした「高杉晋作立志像」が建てられています。

■住所／萩市南古萩町23
■問合せ先／TEL 0838-22-3078



松陰神社

吉田松陰を祭神とする神社。1890年(明治23年)に松陰の実家である杉家の人々の手で私祠として建てられたのがはじまりで、現在の社殿は1955年(昭和30年)に完成したものです。御神体は、松陰の遺言により、終生愛用した赤間硯と父叔兄宛に書いた文書が納められています。

■住所／萩市椿東1537
■問合せ先／TEL 0838-22-4643

幕末・維新ゆかりの



萩城跡 指月公園

1604年(慶長9年)、毛利輝元が指月山麓に築城したことから別名指月城とも呼ばれ、山麓の平城と山頂の山城とを合わせた平山城でした。吉田松陰は、11歳のときに藩主毛利敬親の御前で立派に講義を行いました。現在は石垣と堀の一部が昔の姿を留めています。

■住所／萩市堀内1-1
■問合せ先／萩市観光協会 TEL 0838-25-1750



木戸孝允旧宅

維新の三傑と詠われた木戸孝允(桂小五郎)の生家。生まれてから江戸に出るまでの約20年間で過ごした木造瓦葺の2階建ての家は、孝允誕生の部屋や庭園などよく旧態を残しており、幼少時代の手習いの書を表装した掛け軸や写真などが展示されています。建物内にはボランティアガイドが常駐しています。

■住所／萩市呉服町2-37
■問合せ先／萩市観光協会 TEL 0838-25-1750



久坂玄瑞誕生地

高杉晋作と共に松下村塾の双璧といわれ、吉田松陰から「防長年少第一流」と絶賛された久坂玄瑞は、18歳のときに松陰の妹、文と結婚しました。のちに薩摩・土佐・水戸の同志と尊王攘夷運動を推進するも、禁門の変で敗れ自刃。生家は現存してはいませんが、跡地には誕生地を示す石碑が立っています。

■住所／萩市平安古町537-2
■問合せ先／萩市観光協会 TEL 0838-25-1750



文と萩物語

花燃ゆ大河ドラマ館

萩市の新たな観光スポットとして好評開館中です。

ドラマを彩る美しい衣裳や、ここでしか見ることのできない映像集、体験コーナーなど、充実した内容で、ドラマの世界観を存分に体験していただけます。また、ドラマの進行にあわせ、追加展示も行っています。

1 シアターコーナー

映像によるロケ風景、萩の歴史・名所の紹介、主演者メッセージなど、ここだけでしかご覧いただけない映像を上映しています



2 大河ドラマ「花燃ゆ」とは…

ドラマの中の「萩」…名場面集

松下村塾と塾生、文の結婚式、松陰の最後…。放送されたドラマから、萩に関わる大切なシーンをピックアップ。これまであまり「花燃ゆ」を見ていない方もここでストーリーをチェックできます。



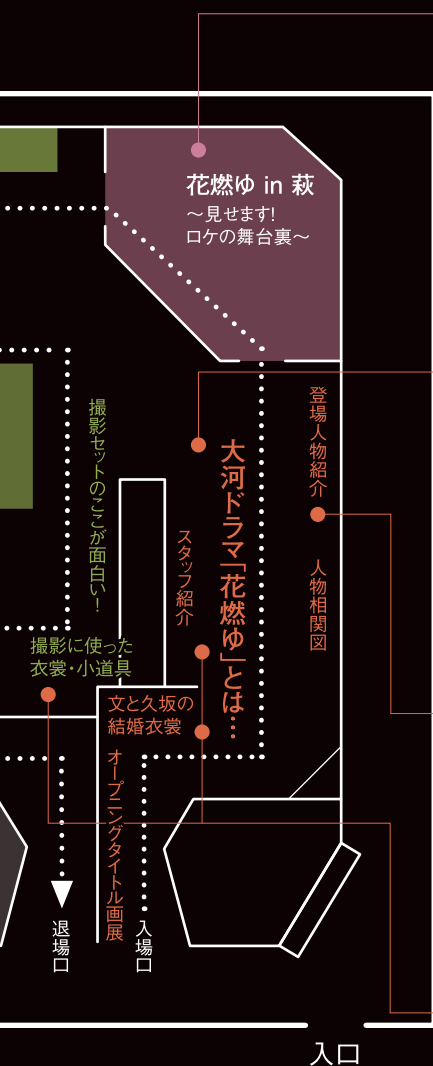
パネル展示

ドラマのストーリーやキャスト紹介、文と松下村塾の人々が活躍した時代背景などを分かりやすく展示しています。



ドラマで使用された衣裳や小道具の展示

ドラマで実際に使用された、衣裳や小道具などを展示しています。ドラマを彩る美術の世界をご堪能いただけます。衣裳は主人公 文や吉田松陰、久坂玄瑞のほか、高杉晋作、長州藩13代藩主毛利敬親などを展示しています。



3 ドラマセットの世界ゾーン

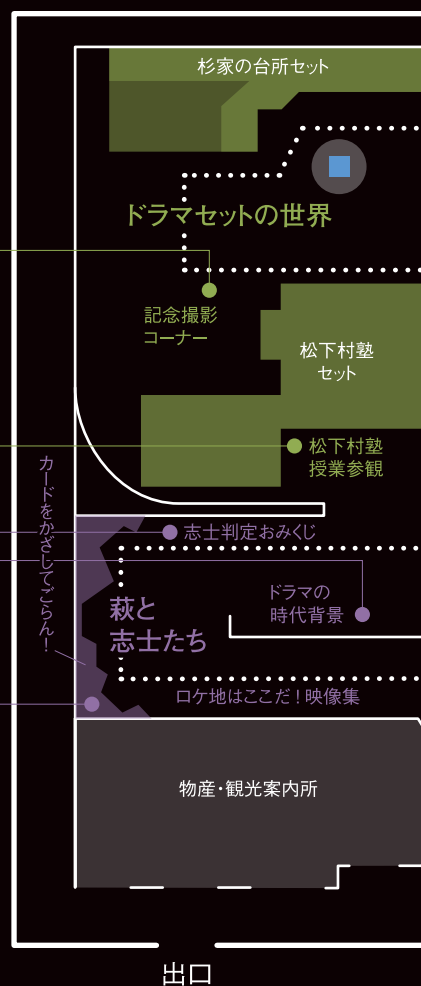
松下村塾授業参観

ドラマで数多くのシーンがある、松下村塾のセットを再現。そこに、文と松陰がアニメーションで登場し、松下村塾の授業風景を分かりやすく解説します。高杉晋作や久坂玄瑞も登場し、熱血の授業風景がよみがえります。



記念撮影ポイント

松下村塾をバックに記念撮影が出来る人気スポットで、文と松陰の衣裳を着て記念撮影ができます。



4 萩と志士たちゾーン



松陰先生が遺した心

ドラマ前半のハイライトで登場する、松陰が遺した「留魂録」、「永訣の書」(ドラマで使用したもの)などを展示し、松下村塾生、家族に残した遺言を紹介。松陰の想いや志を紹介します。

志士判定おみくじ

簡単な3つの質問に答えるだけで、自分がどの志士タイプか判定してくれます。

文と萩物語 花燃ゆ大河ドラマ館 information

住 所／旧明倫小学校体育館(萩市江向602 萩市役所前)
時 間／9:00~17:00(最終入場16:30)
休 み／無休
入場料／普通入場 大人500円(高校生以上)
ホームページ／<http://www.city.hagi.lg.jp/fumi-hagi/>
※2016年1月10(日)まで開館

〈問合せ先〉
大河ドラマ館に関して:萩市大河ドラマ推進室 TEL 0838-25-3139
入場券に関して:入場券販売管理センター TEL 080-2922-7750

大河ドラマゆかりの人物が自己紹介

受付で配られたカードを機械に置くと、ドラマゆかりの人物がアニメーションで登場し、動きながら自己紹介。文や松陰など、ゆかりの人物10人が、自分の活躍ぶりを得意気に演説します。どの人物が見られるかは、受け取ったカードによってさまざまです。当日のお楽しみです。



「ふみ御膳」は、地元で「べっぴんさん」と呼ばれるあまだいや「イカの女王」と呼ばれるケンサキイカなど、女性イメージのある魚を使って、市内の和食店やイタリア料理店、旅館など7施設で提供。「ふみ弁当」は、食事処2施設と仕出し料理店2施設で提供します。旬の魚を使うため、季節によってお料理内容が変わります。それぞれのお店でオリジナルのお料理をお楽しみください！
※数量限定となりますので、ご予約をおすすめします

■問合せ先／萩市観光協会 TEL 0838-25-1750

提供期間：平成27年12月31日まで



2,400円(税別)



2,400円(税別)



割烹 千代

住 所／萩市今古萩町20-4
T E L／0838-22-1128
時 間／11:30～14:00、17:00～22:00(LO 21:00)
休 み／月曜 ※ふみ御膳の提供は11:30～14:00



市場前レストラン 来萩

住 所／萩市椿東4160-61(道の駅／萩シーマート内)
T E L／0838-24-4939
時 間／平日11:00～15:00、土日・祝日11:00～17:00
休 み／元旦のみ



2,400円(税別)



2,400円(税別)



萩の御厨 高大

住 所／萩市唐樋町80番
T E L／0838-22-0065
時 間／9:00～21:00
休 み／無休



Trattoria ĀKKA

住 所／萩市下五間町74 蔵屋敷ビル2F
T E L／0838-25-5784
時 間／11:30～14:00(LO13:30)、17:30～22:00(LO21:30)
休 み／火曜 ※入荷食材の都合上、前日までに要予約

※旬の魚を使用するため、写真が実物と異なる場合がございます



萩沖の海幸セクション

ふみ御膳 & ふみ弁当

萩市は、年間250種類もの魚が水揚げされ、年間を通して新鮮で美味しい地魚を食べることができる「魚食王国」です。大河ドラマ「花燃ゆ」のヒロイン・文をイメージして、萩の旬の魚介を使ったメニューが誕生しました！



2,400円(税別)



2,400円(税別)



だいにんぐまめた

住 所／萩市椿東3000-5 ロイヤルインテリジェントホテル2F
T E L／0838-21-4689
時 間／11:00～14:00(LO13:30)、17:30～LO22:00
休 み／不定休



小味季

住 所／萩市瓦町42
T E L／0838-25-6842
時 間／11:00～14:00、17:00～20:00
休 み／日曜・水曜 ※ご予約をいただき営業しています

ふみ弁当



1,500円(税別)



1,500円(税別)

◎御食事処 わらじ

住 所／萩市呉服町1-4
T E L／0838-22-6100
時 間／10:00～18:00(18時以降予約可)
休 み／不定休

◎喫茶・レストラン 仕出し料理シズキ

住 所／萩市吉田町79
T E L／0838-22-0660
時 間／11:00～18:00(要予約)
休 み／不定休



3,500円(税別)

ふみ弁当(仕出し)



1,500円(税別)



1,500円(税別)

◎いのうえ 仕出し

住 所／萩市東浜崎町1-47
T E L／0838-25-7118
時 間／9:00～17:00
休 み／不定休

◎仕出し料理 きたむら

住 所／萩市土原1区504
T E L／0838-25-1596
時 間／9:00～18:00
休 み／不定休



萩の宿 常茂恵

住 所／萩市土原弘法寺608-53
T E L／0838-22-0150
※老舗旅館のご昼食味覚プランとしてご提供(要予約)



2 恵美須ヶ鼻 造船所跡

萩藩は、幕府の要請などにより洋式軍艦の建造を試みました。1856年（安政3年）に、恵美須ヶ鼻造船所を設置し、藩最初の洋式木造帆船「丙辰丸」を建造、その後「庚申丸」を建造しました。現在も当時の規模の大きな防波堤が残っています。

■住所／萩市椿東5159-14

1 萩反射炉

反射炉は、鉄製大砲の鑄造に必要な金属溶解炉で、萩藩の軍事力・海防強化の一環として導入が試みられました。萩反射炉は1856年（安政3年）に試験的に操業したものと考えられ、高さ10.5mの煙突にあたる部分が残っています。反射炉が現存するのは静岡県と萩の2ヶ所だけで、産業技術史上たいへん貴重な遺跡です。

■住所／萩市椿東4897-7

世界遺産に登録
「明治日本の産業革命遺産」

萩の 産業遺産群

〈 問合せ先 〉
萩市世界文化遺産課
TEL 0838-25-3380



5 松下村塾

吉田松陰が門弟を教えた私塾。松陰は、西洋の教育、科学、産業を取り入れた進歩的な国づくりを夢見ていました。塾生の多くは、師の志を受け継ぎ、日本が近代国家となるために力を尽くしました。日本の近代化、工業化の過程で重要な役割を担った多くの逸材がここで学びました。

■住所／萩市椿東1537

4 萩城下町

萩城下町は、城跡、旧上級武家地、旧町人地の3つの区域からなっています。城跡は萩藩の政治・行政の中心であった萩城の遺構がある区域です。旧上級武家地は萩城外堀の内側の区域で、身分の高い藩士の屋敷や土塀などが残っています。旧町人地は、幕末の豪商や中級武士の屋敷など当時の佇まいが残っています。

■住所／萩市呉服町ほか

3 大板山 たたら製鉄遺跡

両側に足ふみ『ふいご』のついた炉、排水路、鉄池など日本の伝統的な製鉄方法である「たたら製鉄」に関する遺構がよく保存されています。ここで作られた鉄は、幕末に萩藩が建造した洋式軍艦「丙辰丸」にも使用されました。建物跡などの遺構が露出した形で整備されています。

■住所／萩市紫福257-5